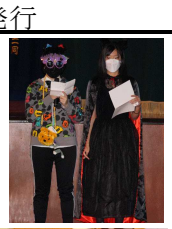
分校だより 特別号

心をひとつに！紅葉祭

●10月30日（土）、紅葉祭が開催されました。今年は話し合いを重ねてきた結果、一般公開を取りやめて生徒たちで行うことにしました。また、展示部門や農産物販売も取りやめ、生徒会企画の催し物で伝統を引き継ぎました。地域の方々に太田分校の活躍や取組みをご紹介できなかったのは残念でしたが、来年は一般公開出来ることを願い、全校生徒が心を一つにすることができたのではないでしょうか。



総合司会
二年生
草刈和真君
小山陽心君

下のQRコードから、他の写真もご覧いただけます。

地域と共に歩む
大曲農業高等学校太田分校
〈ＴＥＬ〉
０１８７（８８）１３１１
〈ＦＡＸ〉
０１８７（８６）９０３５

収穫祭 大地の恵みに感謝して

●紅葉祭終了後、収穫祭が行われました。農業委員長伊藤温叶君が今年一年の振り返りを、高田京助先生は食への感謝についてお話してくれました。

農業委員長　伊藤温叶君

秋がしだいに深まりを見せはじめ、田んぼからは稲穂もすっかり見えなくなり、夕方の肌寒さも一層感じる今日この頃です。

さて、稲刈りも無事に終わり、今年も収穫の喜びと自然への感謝の思いを全生徒・職員で分かちあう収穫祭がおとずれました。大農太田分校の自然農の実践は、無農薬にこだわり、自然な環境で育っていく作物の姿に多くのことを学ぶ良い機会でした。その一つは、肥料とか、農薬と言う前に自然と対話する姿勢がもっとも大切だと気づきました。作物は、決してひ弱ではありませんでした。この猛暑の中でも、ジャガイモやキャベツ、サトイモ、枝豆、ナスなど、暑さに負けず、じっと我慢して、元気に育った姿を見せてくれました。大地を耕し、肥料をやり、水をやり、虫を退治し、草を刈って作物を育てることが、作物にとっても大切なことだと実感しました。そのような作物の育つ大地は、我々、人間にも生きるエネルギーを与えてくれていたことが少し分かるようになりました。多くの仲間達と畑作業をし、収穫し、それらを共にいただくことで、普段見せる事のなかった心の内も開かれ、人の輪が自然に生まれ、協力し合うようになりました。このような自然農の実践生活の喜びを与えてくれた大地に感謝し、みんなと収穫の喜びを分かち合いましょう。

【農場部主任　高田京助先生のお話】

春からの田植えや全校除草作業、そして収穫に至るまでの様々な管理作業ご苦労様でした。９月30日、分校の稲刈りが終了しました。分校の畑には大根や白菜、ネギなどの収穫が残っていますが、今日は収穫祭ということで、一つの区切りとして大地の恵みに感謝したいと思います。

今、稲刈りが終えた水田には、新たな葉が顔を出しているような状態の水田を何と呼ぶか皆さんは知っていますか。切株から新葉が出ている状態を「ひつじ田（穭田）」と言います。まるで、羊の毛を刈った後に出てくる毛のように見えます。刈られても出てくる様を見ると生命の力強さを感じます。

私たちはたくさんの野菜を育ててきたこの一年、たくさんの生命の力に触れてきました。猛暑の中でもたくましく育つ野菜はもちろん、生育旺盛な水田雑草の生命力には本当にびっくりしました。

さて、農作物に関わる様々な生命の力を感じながら，全校生徒職員でがんばった特別栽培米作り。皆さんの地道な頑張りがあって過去最高の収穫となりました。本当にお疲れ様でした。一年生の皆さんには初めてことばかりで毎日が新鮮で驚きの連続だったと思います。二・三年生の皆さんは、後輩の指導や交流の中で農業の奥深さと、皆で一つの目標に向かい取組む一体感と楽しさを改めて感じたことと思います。農業に於いて農産物の収穫は毎年安定したものではありません。天候に左右され、不作豊作を繰り返しながら試行錯誤を繰り返し、今にその技術を受け継いでいます。人々は春にその年の豊作を願い、秋には収穫を喜び、天にその感謝を捧げる。それが収穫祭です。

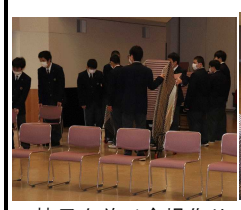
農業は英語ではアグリカルチャーと言いますが、アグリは「農業の」という意味で、カルチャーは土だけではなく、「心を耕す」という意味があります。そこから「文化」「教養」という意味で用いられるようになったと言われます。農業に係わることは、農作業を通じて築き上げられてきた文化を受け継ぐことにつながります。皆さんが毎年取り組んでいる米は日本人の主食ですが、実に三千年以上前に大陸から持ち込まれた「文化」「教養」に触れていることになります。米作りは、長い年月をかけて栽培方法や品種改良、肥料や農機具も開発され、安定的に生産が可能になったのは実に20世紀になってからの事です。皆さんが今年、長い時間をかけて実習してきた事は、先人たちが積み重ねて確立してきた財産でもあります。今の時代、私たちの食がこれほど安定しているのは、先人たちの努力のおかげであることを忘れないでください。

近年では、食品の大量廃棄・フードロス等、世界的な問題となっています。この収穫祭の日だけに限らず、常日頃から食に対する感謝の気持ちを忘れないようにしていただきたいと思います。生徒の皆さん、収穫祭の今日は、天と大地の恵みと安定した食への感謝への思いを一人一人巡らせ、収穫の秋にふさわしく、食に感謝と敬意を持つように心がけながら、今日は新米に舌鼓を打ちましょう。

全校民謡発表会 開演

●11月3日(水)、太田文化プラザを会場に「全校民謡発表会」を行いました。今年もコロナ禍ではありますが、発表できることを信じ、「総合的な探究の時間」を活用して取り組んできました。感染症対策として公開は保護者限定でしたが、努力の成果を披露することができ、とても充実した発表会でした。

会場にて朝の集会



椅子を並べ会場作り　　今日の段取りを確認中

本番前にみんなで昼食　　リハーサルの様子

＜生徒発表 第2部 秋田民謡 「長者の山」「秋田節」「正調生保内節」＞

＜民謡模範演奏＞

＜東今泉八幡太鼓＞

＜生徒発表 第1部 東今泉八幡太鼓＞

＜郷土芸能部発表＞

受付開始

菅原校長あいさつ

〈目録を初めて二人〉

総合司会
二年生
高山陽奈さん
伊藤温叶君

左のQRコードから、他の写真もご覧いただけます。